

こんにちは 野々市市議会です



「スイカリオン」

【石川県立明和特別支援学校高等部美術部】

6月定例会議案審議・議決結果一覧2P
議会報告会の結果報告等3P
6月定例会一般質問 12人4P
9月定例会日程16P

議会だより

42号

2024年(令和6年)

第1回議会報告会 開催結果のご報告

1回目となる「議会報告会」を、学びの杜ののいちカレードで令和6年3月31日（日）に開催いたしました。参加者アンケートでいただいたご意見等（アンケート自由記述欄から）を抜粋してご紹介いたします。
多くの貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。

ご意見等	所管の常任委員会
職員の人で融通のきかない人が多い。若い職員の抜擢人事をしてほしい。	総務産業常任委員会
市民協働の範囲が分からない。	総務産業常任委員会
じょんからまつりについて、①踊りの人が少ない。踊り人が多く集まるように考えること。②出店の所に多く人達が集まり、踊りを見てくれない。	総務産業常任委員会
スポーツ施設特別委員会をレクリエーション・スポーツ施設特別委員会に改編してください。今の体育施設は一定の団体愛好者しか使っていません。多目的に使える施設整備をしてください。レクリエーションを前面に出すべきです。	教育福祉常任委員会
教育に対して、先生方の負担も軽減し、地域の心ある経験者や有志も協働できればいい。	教育福祉常任委員会

皆様からいただいた貴重なご意見等は、**全議員で共有**し、今後の議会活動に生かしてまいります。
●所管の常任委員会で情報共有し、**政策展開の可能性を調査・研究**させていただきます。
●市議会が責任を持って**市役所の担当課にお伝え**いたします。
●今後の**議会運営の参考**とさせていただきます。

ご参加いただいた皆様に
御礼申し上げます



第1回議会報告会で
いただいたご意見等は、野々
市市議会ホームページで
ご確認いただけます。



野々市市議会ホームページ

野々市市議会では、「議会報告会」の運営の在り方、皆様との意見交換の進め方等の見直し・検討を進め、より良い報告会にしていきたいと思います。
そのため、次回開催まで検討のお時間をいただき、**「令和7年春頃の開催」**を予定しております。

令和6年度一般会計補正予算
能登半島地震被災世帯に
生活家電購入費13万円を給付
東京圏から市内移住者増に伴う支援金の追加予算も

6月
定例会



令和6年第2回6月定例会は、6月10日から27日まで開かれました。
6月定例会では、市長提出議案15件を全会一致または賛成多数で可決、承認し、諮問1件を全会一致で適任としました。
主な議案として、能登半島地震で市内のみなし仮設住宅に入居されている被災者に対し、生活家電購入費として1戸当たり総額13万円を限度として給付するなどの事業費8,264万4千円（全額国庫負担金）を4月1日付けで専決処分した令和6年度一般会計補正予算案を全会一致で承認し、布水中学校増築事業の追加予算、文化会館改修事業の追加予算、東京圏から就業を伴って市内に移住した方に支援金を交付する制度の申請件数の増加に伴う追加予算など8,240万円を計上した令和6年度一般会計補正予算案を全会一致で可決しました。

議決結果一覧

		議決日	議決結果	○=賛成、×=反対 ※議長（北村 大助）は採決に加わりません。														
番 号	件 名			三納昭博	木谷直子	中村和流	西村雅博	田中陽子	田中勝己	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	安原透	西本政之	中村義彦	岩見博
議案第36号	専決処分（令和5年度野々市市一般会計補正予算第10号）の承認について	6月27日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第37号	専決処分（野々市市税条例の一部を改正する条例）の承認について	6月27日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第38号	専決処分（令和6年度野々市市一般会計補正予算第1号）の承認について	6月27日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第39号	令和6年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第40号	野々市市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第41号	野々市市本社機能立地促進のための市税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第42号	野々市市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第43号	野々市市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第44号	野々市市公共下水道条例の一部を改正する条例について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第45号	財産の取得について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第46号	市道路線の廃止について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第47号	市道路線の認定について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第48号	石川県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第49号	「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第50号	工事請負契約の締結について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6月10日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
請願第2号	学校給食費の無償化を求める請願書	6月27日	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○
議会議案第2号	教職の重要性を踏まえた教師の処遇改善を求める意見書	6月27日	原案可決	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	-	○	×	○	×
議会議案第3号	地方財政の充実・強化に関する意見書	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○



田中 陽子 議員
(野々市フォーラム)

本市の重層的支援体制の取り組みについて

令和5年度から「福祉連携調整室」を設置し、関係各課が連携しやすい体制づくりに努めているところ

- Q** 複合的な課題を持つ方をサポートする為の現状と今後の取組について
- A** 市長 ● 従来の介護、障害、子育てといった枠組みに収まらない課題を持つ方々へのサポート体制である重層的支援体制の本市の現状と取組について。
- Q** 従来介護、障害、子育てといった枠組みに収まらない課題を持つ方々へのサポート体制である重層的支援体制の本市の現状と取組について。
- A** 市長 ● 近年本市においても複数の課題を抱えた複雑なケースや、既存制度の狭間にある方の支援に向けた重層的支援体制の整備が急務となっており、設置された「福祉連携調整室」では複数の課で担当している①健康寿命の延伸、②社会資源の活用、③包括的な相談体制の整備、④子育て関係の相談支援という4つを柱として課題の共有とその対応策について検討している。様々な課題を抱えた世帯を行政戸地域が協働して誰ひとり取り残すことの無い地域共生社会を実現したい。
- Q** 高齢単身世帯の支援体制の取組について。
- A** 市長 ● 本市における令和5年度の65歳以上の人口は、1万921人、高齢単身世帯は1、

- Q** 本市におけるハードフレームの状況と今後の対応について。
- A** 総務部長 ● これまでに「接遇マニュアル」を制定し、市民の方々からの意見、質問については、先ずは耳を傾ける姿勢を心掛け、用件に叶った対応ができない場合、相手の身になって、具体的事例を交えて丁寧な説明をしたり、代替案、別
- Q** 本市におけるハードフレームの状況と今後の対応について。
- A** 総務部長 ● これまでに「接遇マニュアル」を制定し、市民の方々からの意見、質問については、先ずは耳を傾ける姿勢を心掛け、用件に叶った対応ができない場合、相手の身になって、具体的事例を交えて丁寧な説明をしたり、代替案、別

587世帯と平成12年から約3.6倍に増加しており、高齢単身世帯への支援は本市の喫緊の課題と認識している。高齢単身世帯、高齢者のみの世帯の方が市への登録をしていたことで民生委員等の見守り支援を受けていたことで、登録をお勧めしている。住み慣れた地域で支え合う事も大切であると考え、サロンの開設、居場所づくりにも努めている。また、高齢者を支える人材育成の点から、認知症サポーターの養成にも力を入れている。市内3か所の包括支援センターと連携し、検診や医療・介護サービスを受けていない高齢者には生活状態を把握するため個別訪問を実施している。

選択肢を提示できないか検討するなど心掛けるように職員には周知している。その中で、行政としては十分な対応しているにもかかわらず、執拗に、独善的な主張を繰り返す、理不尽な要求を認めさせようと罵倒、恫喝など著しく威圧感や恐怖感を与える行為を行ったり、延々と電話をかけた続けたり過度な謝罪を求めたりするような行為などがいわゆるハードフレームの一例に挙げられる。その対応は何度も、長時間にわたる場合も多く、業務に支障が生じるだけでなく、対応する職員に深刻な身体的・精神的苦痛を与え、結果的に職員の能力の発揮に重大な悪影響が生じ、行政経営における大きな損失につながる可能性があると考えられる。

ハードフレームについての明文化など定義づけを行い、情報を公開するなどといった様々な対策を検討し、これまでに制定してきた「接遇マニュアル」にさらに「ハードフレーム」に対する対応を中心とした取り組みについても盛り込んでいき、接遇に関する研修の充実を図り体制の強化を行っていききたい。



安原 透 議員

市民協働におけるすべてのコミュニティ組織を取込んだ新たな地域コミュニティ組織の必要性について

公民館をはじめとした活動を地域ぐるみで支援することで、地域コミュニティの活性化を図りたい

- Q** 市民協働を推進する中で、本市の地域コミュニティの現状と課題について、市長の所見を伺う。
- A** 市長 ● 市民協働のまちづくりにおいて町内会自治が重要であるが課題として、役員の成り手不足等の課題があり、町内会だけで解決できないことがある。様々な市民活動団体の活動を支援することで、それぞれの活躍はもちろんだが、目的の団体や町内会がタッグを組むことによる相乗効果にも期待をしている。更に公民館活動を地域ぐるみで支援することで、活性化を図ってまいりたい。
- Q** 町内会を中心とした市民協働を推進するための中核組織が機能している今のうちに、多様化し深刻化する地域課題の解決に向けて新しい地域コミュニティの準備を今から始めるべきと考える。地域コミュニティ組織の活動拠点として公民館のコミュニティセンターへの移行をし、生涯学習、社会教育に加えて、地域、人づくりの拠点として地域住民の参画、主体となる地域づくりを推進する、その準備を始め

- Q** 本市施策として、老人クラブに関してどのような成果指標を持ち、どのように向き合っているのか、今後のあり方について、市長の所見を伺う。
- A** 市長 ● 老人クラブについては、会員相互の交流はもとより、清掃活動や子どもたちの見守り活動等、豊かな人生経験を持つて積極的に御活躍をいただいており、健康長寿を目指す本市にとっても老人クラブの役割は今後、更に重要なものと考えている。一方で、地域に根差した高齢者の自主的な組織であること、就業年齢の上昇に伴う会員数の減少などの課題も生じており、施策の進捗を評価する指標を定めるこ
- Q** 野々市市緑の基本計画について、緑の保全という観点から、本市の緑の状況について、具体的な評価と今後の目指すべき姿について市長の所見を伺う。
- A** 市長 ● 本計画の目標年次の令和24年度では目標を6.8平方メートルと設定したところである。この目標に向かって着実に整備を進めたい。土地区画整理事業の実施に当たっては、事業区域面積の3%以上の公園緑地を整備することとなっているが、さらなる緑化を図るため、できる限り多くの面積が確保されるよう組合と協議を行っており、地区計画を活用した民有地の緑化や都市計画道路沿線での植樹など区域内の緑化を推進しているところである。計画の目標達成に向けては、今後も開発と緑地保全のバランスを保ちながら、引き続き緑化を推進していききたい。

とが難しくなっている。皆様の意向も踏まえ側面的な支援に努めていきたい。待ちの姿勢といったものではなくて、お取組みの御提案もしていくことで、老人クラブの会員の減少の対策につなげてまいりたい。

野々市市緑の基本計画について、緑の保全という観点から、本市の緑の状況について、具体的な評価と今後の目指すべき姿について市長の所見を伺う。

本計画の目標年次の令和24年度では目標を6.8平方メートルと設定したところである。この目標に向かって着実に整備を進めたい。土地区画整理事業の実施に当たっては、事業区域面積の3%以上の公園緑地を整備することとなっているが、さらなる緑化を図るため、できる限り多くの面積が確保されるよう組合と協議を行っており、地区計画を活用した民有地の緑化や都市計画道路沿線での植樹など区域内の緑化を推進しているところである。計画の目標達成に向けては、今後も開発と緑地保全のバランスを保ちながら、引き続き緑化を推進していききたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/bMVaLOxsRAE>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/fitF0MSvXn8>

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。



畠中 勝己 議員
(野々市フォーラム)

公共入札(ダンピング対策)について 鶴来街道の道路整備について

変動型平均価格に基づく落札の執行 交差点改良・右折レーン設置に努める

Q 公共入札における「買いたたき防止・低入札・ダンピングに対する本市の考え方や取り組みについて伺う。

A 市長 ● 公共入札において低価格での公共工事の受注、いわゆるダンピング受注は、下請け業者や工事に従事する方の賃金など労働条件の悪化、工事の品質低下などを招く恐れがあるものと認識している。こうしたダンピング受注に対応するために、本市では低入札価格制度を導入しており、低入札基準価格を下回った場合は応札金額の平均から算出する変動型平均価格に基づき、落札の可否を判断している。また、今回の「低入札基準価格取扱要綱」の一部改正については、国や県において、低入札基準価格の参入率や設定範囲が見直されたことで本市も同様の改正を行った。

今後ダンピング対策を継続するとともに、国や県とも連携を密にしなが、品質確保及び契約価格の適正化による下請け業者へのしわ寄せの防止に努め、公平かつ適切な入札の執行を行ってまいりたいと思います。

Q 鶴来街道の将来のあり方について石川県との意見交換

A 市長 ● 鶴来街道と呼ばれる、かつての国道157号であり、本市において重要な基幹道路の一つでございます。平成9年に県道に振り替わった後も、多くの方が利用しており、交通課題として、時間帯によっては、交通渋滞が生じている事は認識しております。しかしながら、本道路の両側には、人家や商業施設などが多く立地しており、拡幅などの抜本的な道路整備をすることは早急には困難であります。

交通渋滞の大きな要因としましては、交通量の多い事や、接続する道路が増えたことありますが、右折レーンがない交差点も、大きな要因の一つと考えております。

このため、本市では部分的な交差点改良について、その都度、県に要望しており、横宮町地内の「野々市交差点」や「栗田北交差点」などの交差点改良を県で実施していただいております。今後も県と現状を共有し、引き続き交差点の部分改良など県に要望し交通課題の解消に向け取り組んでまいりたいと考えております。

Q 野々市子ども・子育て支援事業計画のなかで、保育施設が18施設では不足ではないか市長の見解を伺う。

A 市長 ● 待機児童を発生させないよう、事業計画に基づき、必要な保育園等の施設整備に取り組んでまいりました。具体的には、本年4月に中林地区にミドリ富陽こども園が開園されました。また、本年10月には、旧栗田保育園の跡地に新たな子育て支援センターや病児・病後児保育等を実施する福祉の複合施設も完成する予定です。

子育て中の当事者の方々から、アンケート調査を実施し、今後の保育施設の整備につきましては、その集計結果により保育ニーズを分析して、本市の対象年齢児童数の推移、子育て中の保護者の方々や、子ども・子育て会議の委員の皆様からの意見なども聞きながら検討してまいりたいと考えております。

引き続き、待機児童を発生させないよう取り組むとともに子育てしやすい環境の整備に努めてまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/V4jNqc3IN3Q>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

学校給食費負担 子ども一人53万7千円の教育格差は放置できない

国が責任を持って対応すべきという 考えに変わりはない

Q 県内19市町で何もしていないのは本市を含む4市町だけ

A 市長 ● 自治体間での格差という点についてはあつてはならないことだと思っている。現時点で、国が責任を持って対応すべきという考えに変わりはないし、引き続き、全国的な状況、様々な社会情勢の変化、財源確保ということも含めて検討していきたい。

市独自の保育士配置基準見直しで安心・安全の保育を

Q 保育事故や不適切保育が相次ぐ背景の一つに遊ばせない

A 市長 ● 志賀町が小中学校の給食を、完全無償化することになったことで県内19市町で何もしっていないのは本市と金沢市、宝達志水町、能都町の4市町だけとなった。

本市の学校給食費の保護者負担額は9年間で子ども一人53万7千円で、小松市や能美市など、学校給食を無償としている自治体とこれだけの教育格差が生じていることになる。いつまでも、国がすることと放置できないのでは。

から片付ける、親に対応しながら保育するなどの「ながら保育」をせざるを得ない現状と、その根本に正規雇用の保育士不足があることは否定できない。国の基準見直しを受け、本市独自の基準を一步進めて見直し、ゼロ歳児の3人を2人に、2歳児の6人を4人にすることで保護者も保育現場も安心・安全の保育ができるようになるのでは。

A 健康福祉部長 ● 配置基準の引き上げには、人員確保の課題も伴うので難しい。

Q 今年度事業として、公共施設への太陽光発電設備等の導入調査を行うとしているが、設置事業はいつから始めることになるのか

A 市長 ● 公共施設への太陽光発電設備の設置事業の加速化を



か。また、布水中学校や中央保育園等の増改築事業の追加事業として設置するなど、事業を加速化する考えはないか。

A 市長 ● 事業効果、経済性などを総合的に観点から導入施設を決定したい。設置については令和7年度以降、順次進めていきたい。計画に先行する形になるが、今年度「仮称」ののち子育てステーション」の増築部分に設置する。布水中学校については可能性調査を行ったうえで検討していきたい。

Q 北陸鉄道石川線利用促進へ利用者が参加できる機会の保障を

A 市長 ● 北陸鉄道浅野川線、石川線の利用促進計画の協議・作成にあたっては利用者が参加できる機会を保障する仕組みを構築することが必要ではないか。

A 市長 ● 通勤・通学されている方の意見を聞くことは大切だと思っておりますので、協議会には、そうした声を反映するよう求めています。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/xz87YJ1zqUk>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



朝倉 雅三 議員
(無名)

中央公園整備・スポーツ施設建設 整備推進室を設置せよ

用地取得が完了し整備計画が着手する 時期を目安に体制を整備

Q 能登半島地震では、大規模火災が発生し多くの建物が消失いたしました。この火災に関しては、通電火災と言われていますが、これを防ぐには感震ブレイカーが重要であります。本市において地震火災を防ぐために、感震ブレイカー普及推進に新たな補助事業を提案いたします。

A 副市長 ● 感震ブレイカーは、震度5以上の地震を感じた際に、自動的に分電盤のブレイカーをおとし、電気の供給を遮断させ、電気が原因となる火災事故を防ぐ装置であります。自動でブレイカーを落とすため、ブレイカーに気を取られることなく避難ができ、外出中であってもブレイカーを落とすことができるメリットがある。議員お話の通り、地震の際の火災原因として大きな割合を占めているのが、電気による通電火災であります。この火災は、地震発生時に起こるのではなく、無人となった室内で火出するため、消化が遅れて影響範囲が広がりやすい特徴があります。各家庭において、感震ブレイカーを設置していただくことは、地震発生時の火災抑制にもつながりますので、災害対策として効果があるものと思っております。



野々市中央公園拡張整備事業基本計画
(令和5年度策定)における
整備イメージの一例

Q 野々市中央公園拡張整備事業の用地買収が着手されることになっております。この事業は本市にとってこれまでにない事業規模になると予想されます。今日明日とは申し上げませんが、1年後ぐらいに仮称であります施設整備推進室を

検討してまいりたいというふうに考えています。

A 市長 ● しっかり調査研究させていただき、何か有効な支援というものが探ってまいりたい。

Q 本市子ども食堂団体も増えそれぞれ特色ある運営をしている。市長が自ら子ども食堂の現場を見ていただき、現場の声を直接聞いていただくことが大事。

A 市長 ● 開設されている時間うまく都合が合えばまた拝見させていただきたいと思っております。また具体的ご要望あるいは必要な支援ということについてはそれぞれまた話をいただければぜひ検討させていただきます。

Q 野々市中央公園拡張整備事業の用地買収が完了し、具体的な整備計画に着手する時期を目安に、設置について検討してまいりたい。中央地区整備事業対策室を設置した実績もありますので、適切で効率的な体制を整えてまいりたい。

A 市長 ● 野々市中央公園拡張整備事業は、公園区域の拡大だけでなく、新たな体育施設の整備も行う計画であり、これまでにない事業規模になるものと考えております。整備には用地取得、公園整備やスポーツ施設建設など業務内容も多岐にわたり、複数の部署が計画の遂行に関与することになります。今後、用地取得が完了し、具体的な整備計画に着手する時期を目安に、設置について検討してまいりたい。中央地区整備事業対策室を設置した実績もありますので、適切で効率的な体制を整えてまいりたい。



代表質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/SB46czRFoXs>

代表質問のページは、各会派の責任により編集されています。



梅野 智恵子 議員
(みのりの会)

本市子ども食堂の評価、また今後の展望は

ご尽力に感謝し、市民の自発的な活動を社会福祉協議会と一体となり支援していく

Q 市民協働と子どもの居場所づくりについて
物資や食料保管の観点から、(仮称)野々市つばきのセンター改修に伴い、市独自のフードバンク等支援物資の物流拠点機能を備える環境も整備すべきと考える。

A 市長 ● 現在、自治体の枠組みを超えた広域的な受け皿とになっているいしかわフードバンク・ネットを利用しているので市独自でフードバンクを設置する必要性は感じていない。

Q 市社会福祉協議会移設後の跡地利用の構想は。

A 市長 ● 今後、全庁的に検討予定である。

Q 現在国が実施している子どもの居場所づくり支援体制強化事業の国庫補助金を活用し、市社会福祉協議会を拠点とした市民協働による野々市市子ども食堂の活動支援を行う検討をはいかがでしょうか。

A 健康福祉部長 ● 今年度策定を予定しております野々市市子ども計画において、新たに必要となります事業の立ち上げや既存事業の拡充など、両面から詳細を



野々市市内の子ども食堂の様子

Q 本市高校生の進学地域、通学手段、運行状況など実態調査をしていただき、実際の減便空白ルート、運休期間等の増便をバス事業者に対して市長から積極的な交渉をしていただくほか、本市シャトルバスを高校生のために運行するなど本市として支援の在り方を検討していただきたい。

A 市長 ● 本市はこれまでバス事業者とバス路線や運行ダイヤについて継続した意見交換を実施している。直近では区画整理事業に伴い市街地が拡大した令和3年度において、バス事業者との協議によりバス路線の大幅な見直しを行っていた。通学支援としてのシャトルバス運行は現在考えていないが、今後も通勤通学など市民の皆様の利便性が向上するよう、運行路線や運行ダイヤの見直しについてはバス事業者へ強く要望を行ってまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/vEqdxRenPjY>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西村 雅博 議員
(あおばの会)

令和6年能登半島地震を踏まえ 防災・減災に関する見解を市長に伺う

衛星回線を使用したシステムは、調査研究をしていく
「石川県建設コンサルタント協会」など3社と災害協定を進める

A 総務部長 ●本市では、無線機15台を所持し、今回の地震の際もこの無線を活用しました。能登の市町などから情報を取り入れながら、調査研究していきたいと考えております。

Q 各避難施設における人工衛星を介した「衛星電話」や「スターリンクシステム」などの導入が有効と考えます。各避難所への導入について、市長の見解を伺います。



建物倒壊・道路閉塞

A 総務部長 ●今後、国や県の防災計画で示される被害想定に基づき、それと並行して、専門家のご意見を頂き進めていくことが必要であると考えております。

Q 今回の大地震を受けて、本市の地域防災計画も見直しを行う事と思いますが、今時点における市長の見解について伺います。

A 市長 ●災害発生時には災害対策本部を立ち上げ、様々な突発的業務にも対応しましたので、現時点では新たな部署を新設する事は考えていません。

Q 災害の発生に備えて専門部署の設置が不可欠と考えます。市民の生命と財産を守るための災害専門対策部署の設置について、市長の見解を伺います。

A 市長 ●本市では、91の民間企業や公的団体機関と災害協定を締結しています。ご提案の協会との協議を進めてまいりたいと考えております。

Q 地域防災計画では、国・県・民間企業・団体等と相互協力体制を構築し、災害時に対応する仕組みとなっている一方で、「石川県建設コンサルタント協会」、「石川県測量設計業協会」、「石川県地質調査業協会」との災害協定は締結されていません。当該団体と災害協定を締結する考えはないか、市長の見解を伺います。

Q 地域防災計画では、国・県・民間企業・団体等と相互協力体制を構築し、災害時に対応する仕組みとなっている一方で、「石川県建設コンサルタント協会」、「石川県測量設計業協会」、「石川県地質調査業協会」との災害協定は締結されていません。当該団体と災害協定を締結する考えはないか、市長の見解を伺います。

A 市長 ●「のいち創生総合戦略」は将来の人口減少を見据えた計画であり、「野々市ファンの拡大」を進める事が鍵だと思います。

Q 国立社会保障・人口問題研究所の推計値では、本市の人口は、令和32年に55,360人となる数値が発表されました。人口減少スピードを鈍化させるための、市長の見解を伺います。

A 市長 ●環境負荷低減などSDGSやカーボンニュートラルの達成に寄与します。単発イベントで実証実験に取り組みないか検討してみたいと考えます。

Q 駅周辺のにぎわい創出や近隣商業施設への移動ツールとして「シェアサイクル」導入検討のための社会実験について市長の見解を伺います。

Q 野々市駅周辺の活性化に向けた取組

本市の将来人口対策について



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/0ldh-NRYvxo>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



小堀 孝史 議員
(野々市フォーラム)

野々市ブランド認定品のブラッシュアップに対する支援は

中小企業向けに、販路拡大や新商品開発を補助制度で支援している

Q 認定の有効期間は、認定を決定日から3年を経過した日以後の最初の3月31日までは、認定の更新が可能であり、更新の場合の認定基準について伺う。

認定の有効期間は

A 市長 ●本市の魅力ある産品を野々市ブランドとして認定し、市内外にPRすることにより野々市ファンの拡大につなげ、認定された産品が多く販売されることで、地域産業の活性化につながってほしい。

Q 野々市ブランド認定制度にかける市長の思いを改めて伺います。

認定制度への思い

A 地域政策部長 ●本市の中小企業向けの、販路拡大や新商品開発を支援する補助制度に加え、石川県産業創出機構でも専門家による経営相談窓口がございます。

Q 認定品が市民から愛され続けるように、継続して認定品をブラッシュアップしていくことが必要です。市として認定品をブラッシュアップしているか伺います。

Q 1の1NONOICHIの物産コーナーでは、ブランド品の日本酒・焼酎・ワインを販売し

1の1で酒類を販売しては

A 地域政策部長 ●イベント会場での試飲や試食は、絶好の機会です。「日本酒狸々純米酒」の商品を知らずに試飲をした方が、大変気に入られ購入されたこともあり、知名度とイメージ向上につながっている手ごたえも感じており、地域産業の活性化の一助となっているものと考えています。

Q 令和5年度に出店開催したイベント等において、認定品の魅力発信や地域産業の活性化に手ごたえを実感できたか伺う。

これまでのPR活動は

A 市長 ●認定期間を過ぎたブランド認定品については、原則として事業者からの申し出により更新の手続きをします。申請があると「野々市ブランド認定要綱」に定める設定時と同様の基準で、認定委員会審査を行い、更新の可否を決定します。

Q 大相撲5月場所において、地元の大の里が初優勝し、翌日の記者会見で、本市のブランド認定品のカレーの商品名を言ってもらえました。到来した好機を逃さず、今後の本市の魅力創出を、どのように進めていくのか伺います。

A 市長 ●今回の大の里の優勝とチャンピオンカレーがPRされたことは、大変喜ばしいことです。本市はこれまでも、ツエーゲン金沢や本市ゆかりの著名の俳優さんなどをお招きしてPRを行っており、今回も、市民の関心や様々な契機を捉えて、「野々市ファン」の拡大を進めて参りたいと思っております。

Q 好機を逃がさず賑わい創出を

A 市長 ●日本酒狸々は隣接する観光物産協会の窓口や郷土資料館NONOで常時販売していますし、ワインやヤード焼酎についても市内の多くの商店でも販売しております。

Q 好機を逃がさず賑わい創出を

A 市長 ●日本酒狸々は隣接する観光物産協会の窓口や郷土資料館NONOで常時販売していますし、ワインやヤード焼酎についても市内の多くの商店でも販売しております。

Q 好機を逃がさず賑わい創出を



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/Tp-bU2_FoEM

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



三納 昭博 議員
(野々市フォーラム)

放課後児童クラブへ国補助プログラムの追加採用と市独自の補助支援を

国補助制度の活用を検討し、クラブの状況を懇談会で把握に努める

Q 椿荘と中央児童館の改修については、利用者の声を反映した施設改修となるか。
また、災害時など社会福祉協議会の事業に対する利用の融通は。

高齡者福祉と児童福祉における今後の方向性や考えは

令和7年度に建築、令和8年度からの供用予定である。

A 健康福祉部長 ● 用地取得の準備にかかっている。

Q こうさぎクラブの新施設建設の、スケジュールは。

また、各クラブの状況は懇談会等を通じて把握し、対応を検討する。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。

Q 物価高騰等により放課後児童クラブの運営が厳しい。国補助プログラムの常勤2名以上配置に対する補助を。

また、市独自の補助を。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。

Q 放課後児童クラブの運営について

物価高騰等により放課後児童クラブの運営が厳しい。国補助プログラムの常勤2名以上配置に対する補助を。

また、市独自の補助を。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。

Q 放課後児童クラブの運営について

物価高騰等により放課後児童クラブの運営が厳しい。国補助プログラムの常勤2名以上配置に対する補助を。

また、市独自の補助を。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。

Q 放課後児童クラブの運営について

物価高騰等により放課後児童クラブの運営が厳しい。国補助プログラムの常勤2名以上配置に対する補助を。

また、市独自の補助を。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。

Q 放課後児童クラブの運営について

物価高騰等により放課後児童クラブの運営が厳しい。国補助プログラムの常勤2名以上配置に対する補助を。

また、市独自の補助を。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。

Q 放課後児童クラブの運営について

物価高騰等により放課後児童クラブの運営が厳しい。国補助プログラムの常勤2名以上配置に対する補助を。

また、市独自の補助を。

A 健康福祉部長 ● 採用していない常勤2名以上の配置に対する補助については、活用を検討をしたい。



西本 政之 議員
(令和清栄)

小児がん患者のワクチン再接種の費用を助成せよ

ワクチン再接種の費用の助成の検討を具体的に進めたい

高齡者の肺炎球菌ワクチン接種助成について

Q 小児がんと診断され、抗がん剤の投与や造血幹細胞移植の治療を受けた場合、以前に接種されたワクチンの効果が低下・消失してしまい、再接種を必要とすることがある。その場合、定期接種のワクチンでも任意接種の扱いとなり、原則全額自己負担になる。全国的に再接種の費用助成を実施している自治体が増えているが、一律ではないため、住んでいる地域によって格差が生じている。県内では金沢市・七尾市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・輪島市・津幡町・中能登町が実施している。本市でも小児がん患者のワクチン再接種の費用を助成すべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● 本市では現在、再接種の費用は全額自己負担になっているが、乳幼児期に定期予防接種の対象となる疾病は感染力が強く、重症化しやすいことから、感染及び発症予防のため、ワクチン再接種費用の助成に向けて、具体の検討を進めたい。

Q 高齡者の肺炎球菌ワクチン接種助成について

小児がんと診断され、抗がん剤の投与や造血幹細胞移植の治療を受けた場合、以前に接種されたワクチンの効果が低下・消失してしまい、再接種を必要とすることがある。その場合、定期接種のワクチンでも任意接種の扱いとなり、原則全額自己負担になる。全国的に再接種の費用助成を実施している自治体が増えているが、一律ではないため、住んでいる地域によって格差が生じている。県内では金沢市・七尾市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・輪島市・津幡町・中能登町が実施している。本市でも小児がん患者のワクチン再接種の費用を助成すべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● 本市では現在、再接種の費用は全額自己負担になっているが、乳幼児期に定期予防接種の対象となる疾病は感染力が強く、重症化しやすいことから、感染及び発症予防のため、ワクチン再接種費用の助成に向けて、具体の検討を進めたい。

Q 高齡者の肺炎球菌ワクチン接種助成について

小児がんと診断され、抗がん剤の投与や造血幹細胞移植の治療を受けた場合、以前に接種されたワクチンの効果が低下・消失してしまい、再接種を必要とすることがある。その場合、定期接種のワクチンでも任意接種の扱いとなり、原則全額自己負担になる。全国的に再接種の費用助成を実施している自治体が増えているが、一律ではないため、住んでいる地域によって格差が生じている。県内では金沢市・七尾市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・輪島市・津幡町・中能登町が実施している。本市でも小児がん患者のワクチン再接種の費用を助成すべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● 本市では現在、再接種の費用は全額自己負担になっているが、乳幼児期に定期予防接種の対象となる疾病は感染力が強く、重症化しやすいことから、感染及び発症予防のため、ワクチン再接種費用の助成に向けて、具体の検討を進めたい。

Q 高齡者の肺炎球菌ワクチン接種助成について

小児がんと診断され、抗がん剤の投与や造血幹細胞移植の治療を受けた場合、以前に接種されたワクチンの効果が低下・消失してしまい、再接種を必要とすることがある。その場合、定期接種のワクチンでも任意接種の扱いとなり、原則全額自己負担になる。全国的に再接種の費用助成を実施している自治体が増えているが、一律ではないため、住んでいる地域によって格差が生じている。県内では金沢市・七尾市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・輪島市・津幡町・中能登町が実施している。本市でも小児がん患者のワクチン再接種の費用を助成すべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● 本市では現在、再接種の費用は全額自己負担になっているが、乳幼児期に定期予防接種の対象となる疾病は感染力が強く、重症化しやすいことから、感染及び発症予防のため、ワクチン再接種費用の助成に向けて、具体の検討を進めたい。

Q 高齡者の肺炎球菌ワクチン接種助成について

小児がんと診断され、抗がん剤の投与や造血幹細胞移植の治療を受けた場合、以前に接種されたワクチンの効果が低下・消失してしまい、再接種を必要とすることがある。その場合、定期接種のワクチンでも任意接種の扱いとなり、原則全額自己負担になる。全国的に再接種の費用助成を実施している自治体が増えているが、一律ではないため、住んでいる地域によって格差が生じている。県内では金沢市・七尾市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・輪島市・津幡町・中能登町が実施している。本市でも小児がん患者のワクチン再接種の費用を助成すべきと考えるがいかがか。

Q 今年4月から、高齡者の肺炎球菌ワクチン接種の対象者が、原則65歳の方のみとなった。ワクチン接種後4年〜7年で抗体価が大きく下がるとも言われているので、2回目接種について助成できないか、見解を伺う。

A 健康福祉部長 ● 国の方針に基づき、定期接種において1人1回の費用助成とされており、2回目の接種については、現行どおり自己負担と考えている。

Q ゼロカーボンシティの推進について

①のつてのEV化

本市は2050年の脱炭素社会の実現に向けて、令和4年に「ゼロカーボンシティ」を宣言した。今後、のつての車両更新ではEVバスの導入を検討しゼロカーボンシティの推進を図るべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● EVバス導入にあたっては、走行距離・高額の車両価格や充電設備など様々な課題があり、現時点では難しいが、将来的には実現したいと思っている。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

A 健康福祉部長 ● 改修に際し、アンケート等により市民の意見を多く取り入れ、地域に開かれた幅広い世代交流の場となるよう進めたい。

Q 令和6年能登半島地震に対応する職員の手当について

被災地に派遣される際の移動時の時間外手当が運転者のみにしか支給されていない。万が一、事故などが起こった場合には労災と認定される可能性が高いことから、同乗者の移動時間は勤務と考えるべきであり、同乗者にも時間外手当を支給すべきと考えるがいかがか。

A 総務部長 ● 加賀地区の自治体において、能登半島地震に係る特殊勤務手当を支給しているのは、金沢市と本市のみであり、手当の拡充は現在のところ考えていない。

Q 三納下林線」の早期着手と道路整備による市内の問題解消に向けて

「三納下林線」について、未整備区間の早期着手を。

A 建設部長 ● まずは「高尾郷線」「野々市中央公園西線」及び「堀内上林線」の一部区間を完成・着手したい。

Q 交通渋滞や混雑の解消に早期整備を。交通渋滞に対する、市の考えは。

A 総務部長 ● 交通実態を踏まえ、警察や関係機関・団体と連携し交通渋滞の解消、交通安全対策に努める。

Q 移住支援金も理解できるが、定住化の観点から近郊の住まいする方にも補助が必要では。

A 市長 ● 定住の促進については、「第二次総合計画」や「のいち創成総合戦略」に基づく施策を進め、まちの魅力を高めていくことが重要と考える。

Q ※このほか「市の職員数について」及び「市キャラクターのつての活用について」を質問いたしました。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/B4mLgEwdQSc>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/B4mLgEwdQSc>



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/36Oate1e6-M>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



木谷 直子 議員
(公明)

市として、拠点避難区の地区防災計画の策定を推進する考えはあるのか

避難区防災会としっかり連携し、拠点避難区ごとの地区防災計画を策定する

- Q** 自主防災組織と防災士について
- 市職員の中に防災士を増やす取り組みをしようか。**
- 総務部長** ●災害対応が必要となる総務課長や防災担当者、建設部職員に資格取得を促している。他部署の職員にも23名の防災士があり、拡充にむけて調査研究する。※防災士数は現在291名。各町会3名以上と令和8年までに360名を目指しています。
- 個別避難計画と福祉避難所について**
- 個別避難計画は、いつまでに何%の作成を目指しているか。また、作成を加速させるための取り組みは考えているか。**
- 健康福祉部長** ●個別避難計画の作成は、令和9年度までに100%の目標を掲げている。令和3年度よりアンケートを実施し、計画策定について町内会の課題も確認できている。今後も計画策定の必要性などを重ねて説明することで、個別避難計画の策定に繋げていきたい。
- 特に障害者手帳1・2級の方や療育手帳Aの方を受け入れ**

- 「コミュニティバスについて」**
- コミュニティバスの更なる利便性を求める声をどう受け止めるか。また、のっティの利便性についての認識は。**
- 市長** ●令和6年3月に策定した基本計画では、本防災機能として、応援機関、活用拠点や自家用車による避難地などの利用を想定しており、雨水の再利用につきましては、災害時にも雑用水として活用できることから、重要な観点であると認識しております。また、井戸の設備を含む飲料水の確保については、「野々市市地域防災計画」の見直しを進める中で、検討を進める。
- 「コミュニティバスに関する件」**
- 昨年の「敬老の日」に「コミュニティバス」の「のっティ」無料乗車券10枚綴りを配布されましたが、配布枚数に対する利用乗車率は**
- 健康福祉部長** ●令和5年度、新たに9カ所の施設が福祉避難所として登録いただき、想定利用者150人を超える180人の要配慮者の受け入れが可能となった。一方、障がいのある方の福祉避難所は現在2施設であり、中でも療育手帳Aの方は、その障害特性から一般の高齢者施設での対応が困難だと予想される。まずは、より多くの福祉避難所の確保に努める中で、個々の障害特性に応じた避難所の選定に努めていく。
- ※本市の福祉避難所
対象者（その家族も対象）
高齢者・障害がある方 9施設
肢体不自由・知的障害の方 2施設
乳幼児・妊産婦の方 2施設
人工呼吸器・在宅酸素利用者1施設
(施設名はホームページに掲載)

- 市長** ●これまでも、運行ダイヤやルートの見直し等、のっティの利便性向上に努めてきた。更なる利便性を求める声についても、数多くあることは承知している。その様な声を反映するため、野々市市地域公共交通協議会で協議し、様々な改善を行っている。
- 利便性向上のためにAIオンデマンドバスは有効だと考える。まずは費用・運用などの調査をし、導入の可能性に向けて検討していただきたい。**
- 市長** ●現時点においては、導入は検討していない。しかし、今後の人口減少や高齢社会が進む中で、将来、導入が必要となってくることも考えられるので、今後調査・研究は続けていきたいと考えている。
- この他、ワクチン接種の周知も求めた。※肺炎球菌は、今年度より定期接種対象は、65歳の1年間のみです。※HPVキャッチアップ接種は、R7年3月末で終了します。3回接種、約6か月間かかるので、全額公費で受けるには、9月ごろまでに1回目の接種が必要です。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/1np5geV4l4s>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



向田 誠市 議員
(野々市フォーラム)

本市における児童虐待に関する相談件数及び相談内容等について担当課対応について問う

令和5年度本市児童虐待件数は122件「心理的虐待」67件「身体的虐待」40件の必要な支援見守りを行っている

- 令和6年能登半島地震に関する件**
- 本市、上下道管路における現在の耐震適合率は何%で、100%になるのは令和何年度か。**
- 建設部長** ●令和5年度末時点では、51.7%となっており、耐震適合率100%の目標年につきましては、現在進めております「野々市市上下道配水管更新・耐震化基本計画（平成30年度策定）」では、42年後の令和48年度に完了予定です。
- 今回の地震を教訓に、上下水道の耐震化を迅速に進めていく上でも、県内の全市町が一体となり国に対し耐震化費用の補助制度の拡充の要求を行っていくべきでは。**
- 建設部長** ●上下水道の耐震化に係る補助制度の拡充については、県市長会や、公益財団法人日本水道協会などを通じて補助採択基準の拡充などについて要望を行ってきており、今後も引き続き要望してまいります。
- 国の緊急防災減災事業債やクラウドファンディング、ふるさと納税、寄付金の活用によりトイレライトイレの購入を検討せよ。**

- 総務部長** ●災害対応に対する費用対効果は薄いと考える、現在のところ購入については考えておりません。しかし、市内の催し物などにトイレライトイレを使用する面では使用価値があるかと思う。
- 「野々市中央公園拡張整備事業」において、市庁舎のように雨水を再利用するシステム採用をしようか。また、災害時の飲料水確保のために、敷地内に井戸を設備することを検討せよ。**
- 市長** ●令和6年3月に策定した基本計画では、本防災機能として、応援機関、活用拠点や自家用車による避難地などの利用を想定しており、雨水の再利用につきましては、災害時にも雑用水として活用できることから、重要な観点であると認識しております。また、井戸の設備を含む飲料水の確保については、「野々市市地域防災計画」の見直しを進める中で、検討を進める。
- 「コミュニティバスに関する件」**
- 昨年の「敬老の日」に「コミュニティバス」の「のっティ」無料乗車券10枚綴りを配布されましたが、配布枚数に対する利用乗車率は**

- 建設部長** ●無料乗車券は、5,865名の方に5,865枚を贈呈し、利用期限である昨年未までに8,886枚の利用があり、利用率は約15%で、一定の利用がされました。昨年は、「コミュニティバス」の「のっティ」運行20周年を記念し、単年度事業として、従来食事券に合わせて贈呈しました。今後、本市発展の礎を築いてこられました高齢者の健康と長寿をお祝いし、感謝の気持ちを伝える事業を、今後とも実施してまいります。
- 座席の汚れ等は、利用者の気分を害する要因となることから、運行管理会社及び運転手さんに日常管理指導をどのようにされているのか。**
- 建設部長** ●市民からのさまざまなご意見を運行会社と共有して対応を協議し利便性や快適性の向上に努めている。また、令和2年度からは、車両更新の際に、座席の素材を汚れに強いビニールシート素材に更新しており、利用者の方に気持ち良く利用できるよう今後も努めてまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/cIzRIh19-5M>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

採択された意見書

教職の重要性を踏まえた教師の処遇改善を求める意見書

教育の質の向上や勤務環境の改善に向け、小学校教科担任制の拡充や中学校の35人学級の実現、小中学校におけるいじめ・不登校生徒支援及び保護者対応のための生徒指導担当教師の配置拡充をはじめ教職員定数の改善、専門職員や支援スタッフの配置充実等を図ること。

など計3項目

地方財政の充実・強化に関する意見書

社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。

など計5項目

感謝状

全国市議会議長会から北村大助議長に感謝状が贈られました。

全国市議会議長会評議員として会務運営にあたり、会の使命達成に尽くされた。







人事

人権擁護委員

坂本 光寿 (栗田二丁目)

9月定例会の予定

会期：9月2日(月)～27日(金) (26日間)

日	月	火	水	木	金	土
1	2 午前10時～ 本会議 開会  生中継	3	4	5	6	7
8	9	10 午前10時～ 本会議 一般質問  生中継	11 午前10時～ 本会議 一般質問  生中継	12 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	13 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	14
15	16	17 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	18 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	19 午前10時～ 議会改革特別委員会 午後2時～ スポーツ施設等 特別委員会	20	21
22	23	24	25	26 午前10時～ 予算決算常任委員会	27 午後2時～ 本会議 閉会  生中継	28

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

